

# Cheese Cake



甘 秋のひととき、ほっとひと息、秋のひととき。いものがあると幸せな気分になる。そう思いませんか？お友達とおしゃべりのお供に、疲れているときの一口に、スイーツがあればほっと心が満たされます。おいしいお茶やコーヒーがあればなおのこと。日を追うごとに寒くなるこの季節、暖かい飲み物に甘いケーキで、心も身体も温かくなります。



# Scone



# Pound Cake



登場します。シンプルだからこそ、いろいろな組み合わせが楽しめるケーキです。この他に、本日のスイーツを用意しています。夏はゼリー、ムース、シャーベットが多かったのですが、そろそろ冷たいものの出番は減ります。代わってシヨコラ、シフォンケーキ、スコーンなどをお出しします。どのスイーツも、比較的甘味を抑えているシンプルなものばかり。けれど、だからこそ、飽きずに、毎日でも食べたくならないかと思えます。ティータイムのひとときに、食後のデザートに、スイーツはいかがですか？(ま)

## 毎月 新聞 ごはん

第 1 8 号

2005年11月  
発行者  
リトル・スター・レストラン  
インターネット無線スポット

FREE SPOT  
あります。

「毎月新聞ごはん」は、リトル・スター・レストランが発行している新聞です。



## 小星★人語

「ちょっと旅に行つてへん。まるでスーパーマーケットにでも出かけるように、彼女は言った。一年半に及ぶ世界旅行は、今考えば、彼女の放浪生活の始まりに過ぎなかった▼「いつもドキドキしていたいの」。そう思う人は多いけれど、そうするために手段を選ばない人は滅多にいない。新しいこと、初めてのことを求めて、彼女は旅から帰るとすぐにアルバートに精を出し、お金が貯まるとまた海外に飛んでいく▼彼女の初めての長期旅行、一年半の世界旅行中、彼女から百通を超える手紙を受け取った。喜びや驚き、楽しさや寂しさ。彼女の「旅」を手紙という形で共有するうち、私たちは離れていても心から想い合える友人になった▼人との出会いが、彼女の「ドキドキ」の大きな要素だった。世界中で、彼女はかけがえのない友人を得た。中でも彼女がカンボジアで出会った「面白くて凄い人」は、縁あって今、私の人生の相方となり、当店の名物ホール係となっている▼日本、インド、マリ、イタリア、イギリスと世界各地で「ドキドキ」した彼女は、タイで出会ったアメリカ人男性と、この秋結婚する。恋多き女も、ついに年貢の納め時。彼との出合いの地、タイでの結婚式への招待状が届いた▼勝手ながら十一月十七日から二十三日まで、秋休みをいただき、彼女の結婚式に出席してきます。タイ料理も満喫してきますので、みやげ話と新しいメニューをお楽しみに(麻)

LSR Collection  
vol.05  
自家製コーヒータン

なんとおもうとNYはスバラしいのであります。街の至る所に手軽なホットドックスタンドがあるし、ピッツァはこれまた大きなスライスで売られていて、僕は下品に大きな口をあけて、んあーって頬ばればいいし、チャイナタウンに行けば安くて涙もんのアジアごはんがわしわしたべられるし、リトルイタリーでパスタをちょっと気取ってつつくのもいいね。我が日本食もなかなか良心的なお値段で時にたへながらむせ泣いたりするわけですが、なんととってもこれぞアメリカン！なんつって思ったのが、このビッグチーズバーガーセット。ファーストフードのハンバーガーとほぼ同じ値段ですが(約五ドル)、ハンバーガーはあくまで



チーズバーガーセット



厚く、しかもお客様のお好みに応じてシェフが心を込めて丹念に焼き上げるのが、三代でこの店を続けてきた我々の誇りなので、えす！と店のおっさんが言ったかどうかはさだかではありませんが、大きなハンバーガーの上にトマトやレタス、ピクルスなんかをのせ、えいやっ！とトマトケチャップをぶっかけて上のパンをのければ、ホントにビッグでゴージャスなハンバーガーのできあがり。ナイフで半分に分けて、だあーっとかぶりつつ、山盛りのポテトをつまみながらジンジャーエール。ピンポ！旅行中の僕にとって、贅沢なディナーみたいな気分を食べるハンバーガー。忘れられないアメリカの味ですね、ホント。(お)

自

家製の梅酒を始めとする自家製果実酒やサングリアなど、リトル・スター・レストランがこだわった「自家製のお酒」。その中で最も当店らしいお酒と言えは、「コーヒータン」だと言えは、香りの豆で漬けたコーヒータンは、高くとろやかな旨味のあるお酒になりました。そのままロックで飲んでもよし、ミルクで割るのもまたよし！



## 旬な話

紅葉の  
前には



急に寒くなり、秋も深まってきました。木々の緑や花もだんだんと姿を消し、町全体の色合いがぐっと落ち着いた感じがします。その一方で、紅葉が楽しめる季節でもあります。いちようの黄、楓の赤などが寒空に彩りを添えてくれます。

いちようは東京都の木でもあるせいか、小さいころから当たり前のように目にしていたような気がします。あの葉の形もかわいくて、よきれいなものを拾っていました。私が通っていた保育園の園庭には、いちようの木がありました。秋になると銀杏くさくなるのですが、先生がその銀杏を収穫して、給食には銀杏ごはんができました。(給食は園内で作っていました)子供でもおいしかったのかどうか覚えていませんが、今でもこの季節になると、園庭のあの独特の香りを思い出します。

鎌倉の鶴岡八幡宮に初めて行ったのは、小学校のときの遠足です。赤い鳥居を過ぎてさらに進むと、黄色の大銀杏が見えてきます。源頼朝の息子、三代将軍実朝を暗殺するために、甥にあたる公暁(ききょう)がこの木の陰に隠れていたという謂れのある

御神木です。そのことを知った後に、大銀杏の下に立った時には、ああ、これがその場所かと感慨深かったことを覚えていました。

撮影などでもよく使われる場所にも、神宮外苑の銀杏並木があります。実際に何度か通ったことがあります。ありますが、葉が緑だった、もう落ちてしまっていたり。それはそれでいいのですが、紅葉した並木も見てみたい。そこで数年前、ちょうどいちよう祭りの時を狙って、外苑に行きました。黄に染まった葉を眺め、思い切り深呼吸すると秋の香りがしました。まっすぐに並ぶ黄色の並木道を、ゆっくりと歩きます。まだ落ちたばかりの葉はやわらかく、踏みしめるとじゅうたんのようになんわりとします。太陽の光が優しく降り注ぐ、穏やかな午後。

そして紅葉といえは、やはり、楓の赤が欠かせません。茶色や黄色に混じって、楓が現れると、鮮やかな赤い色にはっとします。これもきれいな葉を拾って、押し葉にした覚えがあります。

やがて紅葉も終わる時が来ます。枯葉がはらはらと舞い降り、木々は枝を天空に突き刺すように立ちます。寒いのは苦手ですが、かさかさとした落葉を踏みながら歩くのが好きです。落葉を集めて焚き火をして、アルミホイルに包んださつまいもを投げ入れて。最近ではむやみやたらに焚き火もできなくなって、そんなこともできなくなっていました。ちょっと寂しいですね。(圭)



hishima's choice

## 『下妻物語』

嶽本 のぼら 小学館文庫



miyazaki's choice

## 『青春デンデケデケデケ』

芦原 すなお 河出/角川文庫



fukazawa's choice

## 『チョコレートな夜』

佐々木 美穂 PHPインテラス・グループ

映画の何を観るか。ストーリーを追うのか、音楽に耳を傾けるのか、映像美に注目するのか。それは、どの映画を観るかを選ぶ判断基準でもある気がする。私は俳優や監督が気になる。食べるしぐさに見とれたり、憂い顔に惹かれたり、目で演技しているのを感じたり。あ、これはこの監督らしいな、と知った風に思ってしまう自分が、時々嫌になるけれど。

毎日が一生懸命である。何かにとことん夢中である。一緒に夢中になれる友達がいる。そして、ちょっとりとときめきがある。そのすべてが、青春にはある。けれど人はそれを「青春」と気づかぬままに走り抜ける。いや、走り続ける。何かに夢中な限り、青春時代は終わらないのだ。この物語には、青春のキラキラとした輝きがつまっているのだ。

ガッン!と針が振る切れたる映画に出会うと幸せだ。映画館で見て友人と見てCSで放映があればまた見てしまつ、それが私にとっての「下妻物語」。ヤンキーダメ女と孤高のロリータ。こんな素晴らしい組み合わせを思いつく嶽本ののぼらのセンスに脱帽。ユーモアとスピード感のあるイキのいい映画にした中島監督も最高。青春物の金字塔なのです。

## ★今月のお題★

映画とあわせて  
読みたい本

テーマに応じて本をオススメする「本のソムリエ」。本にも映画にも目がないソムリエの、おすすめ本&映画は?

深澤圭子

keiko fukazawa

宮崎麻美

asami miyazaki

神島ゆづ子

yuko hishima



■立て看板が出せなくなりました。  
東京都の東京都屋外広告物条例の改正とその施行にともないまして、これまで営業時間中、中央通りの三京ユニオンビル前路上に出しておいた立て看板が出せなくなりました。とても評判のよかった看板だっただけに大変残念ですが、気を取り直して新たな看板を検討中です。どうぞお楽しみに。

■秋休みのお知らせ。  
お知らせしておりましたとおり一週間の秋休みを戴きます。ようしくお願いいたします。  
秋休み 11月17日(木) ~ 23日(水)



■秋のショッピングカード、出来ました。  
秋の夜長ということで、レジ上の青い星と、ホール中央の丸い星、ふたつのランブシェードのきれいな夜の店内写真をあしらった秋のカードができました。夏のカード同様、限定五百枚。是非おひとつお持ち下さいね。

編集後記



なんとか秋休み前、ギリギリ間に合いました。これだにも思い残すことなくタイに行ってください。帰ってきたら、またすぐ取りかからねばですね。(お)




「毎月新聞 ごはん」、置いていただいています。

南口中央通りの「古書 上々堂」さん、さくら通りの「三鷹の森書店」さん、吉祥寺通り、三鷹の森ジブリ美術館向かいの天然酵母のパン屋さん「コミュニティ・ベーカリー 風のすみか」さんにこの小さな新聞を置いていただいています。

ありがとうございます。

Clip

大学の時の友人が持ってきてくれた Creap の試供品。「なめてごらんさい」というキャッチコピーもあり、久しぶりになめてみると...いや、思いがけずおいしかったりして(笑)、子供の頃を思い出しました(お)





★ Little Star Restaurant  
リトルスターレストラン / Mitaka, Tokyo

東京都三鷹市下連雀 3-33-6 三京ユニオンビル 3F  
Tel+Fax 0422-45-3331 e-mail info@little-star.ws

●定休日：毎週月曜日

●営業時間：11:30 ~ 24:00

(土日・祝祭日は 12:00 開店 / 日祝祭日 23:00 閉店)

フード・ラストオーダー 23:00 (日祝祭日 22:00)

ドリンク・ラストオーダー 23:30 (日祝祭日 22:30)



PC でも携帯でも▶▶▶▶ <http://www.little-star.ws/>